



ヒカリノ道

シアワセのカタチ vol.2



前作「シアワセのカタチ」から1ヶ月。
今回は「自分」をテーマに作品をつくってみました。
みなさんの心に何か届けられたらと思います。

What am I ?



ときどき「自分ってなんだ？」ってなることがある。
そんなときは聞いてみるといい。
自分の一番ちかくの人に。



みんな一緒に見えて、
みんな少しずつ違う。

いいところがあって
ダメなところもある。



Shadow

人のよいところを見る人ほど
じぶんの小ささに傷つく。



Light

速すぎるスピードで走っていると
見逃してしまいたいような
キラキラしたものが沢山ある

走ることも、ときには立ち止まる事も
長い目でみれば、大きな波動の中で

バランスをとっているだけなのかもしれない。



そんな強さに人は心を奪われる。

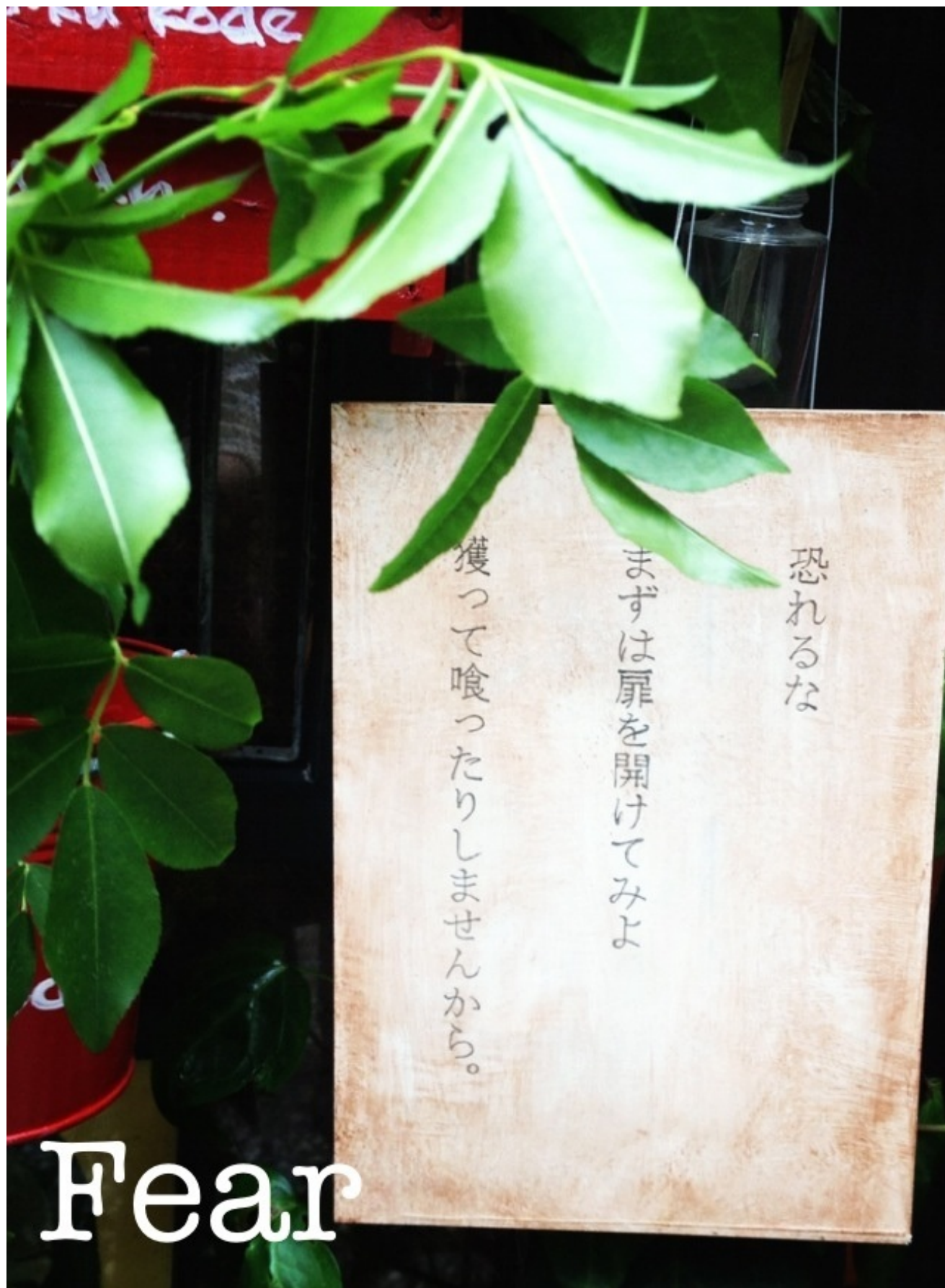


嘘は自分のこころを蝕む。



本当に好きなものも、
本当に好きなひとも、

「一生もの」



恐れるな

まずは扉を開けてみよ

獲って喰ったりしませんから。

Fear

そう言われると、

ますます怖くなるのですが。

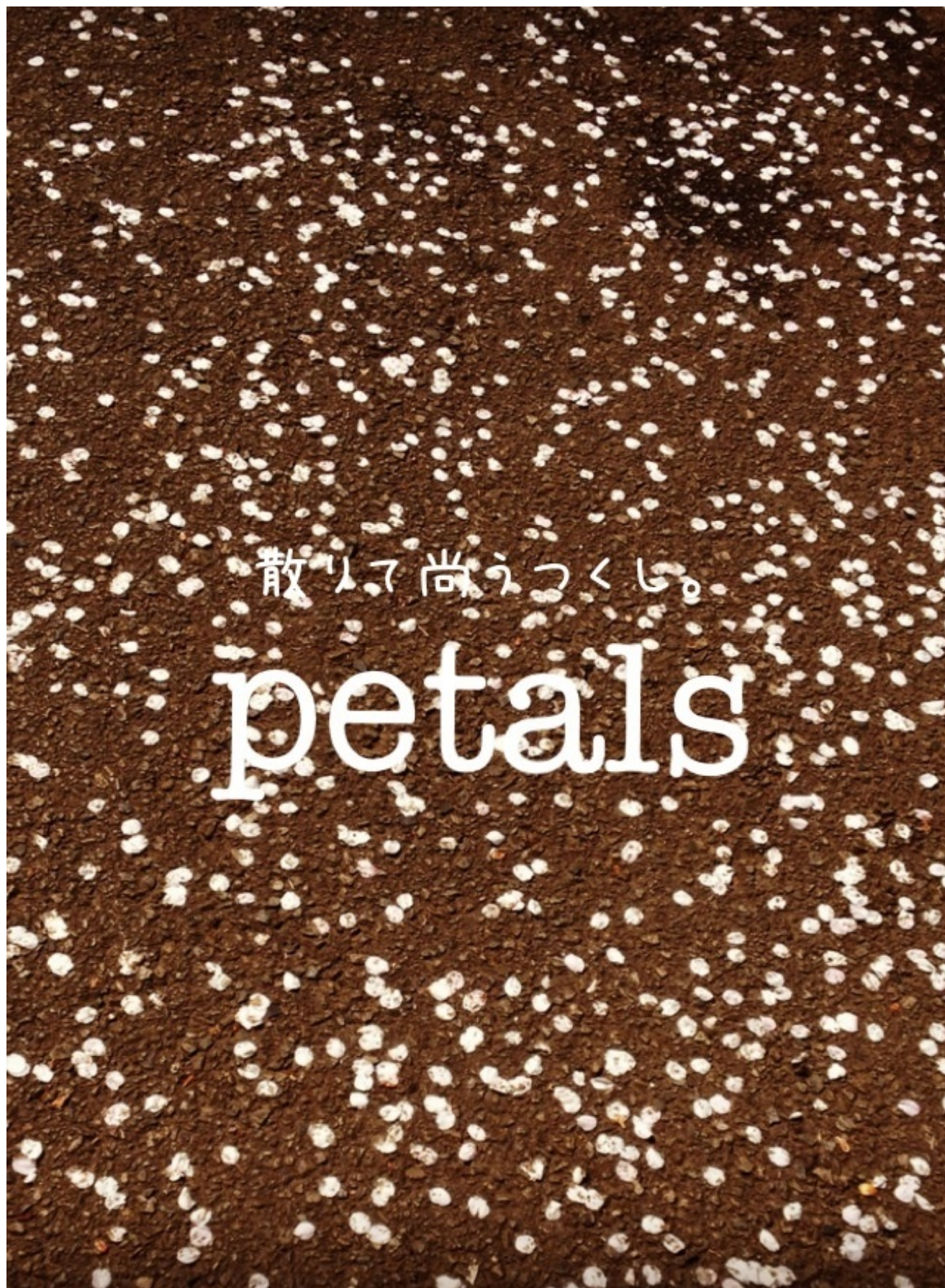


凜と一輪で立つ勇氣。



Spring

明日の天気を心配して
憂鬱なのは、人だけだ。



まるで雪のような、さくらの花びらのじゅうたん。



ほんとに聞きたいのは
誰かの声じゃなくて
じぶんの声

Voice

本当の声、ちゃんと聞いてますか？

生きたい道は、誰かが決めるんじゃない
最後の最後、自分で決めるから



責任がとれるんだとおもう。



Soul

人の目はその人のこころ。



あたらしいものを吸い込んで
心のさびを吐き出す。

朝と夜の狭間の時間。
地球が静かに呼吸をはじめ

Dawn

止まっているかと思えるほどのゆるやかな時間の中。
「生きている」と、実感する。

Heaven

この世を天国にするのも地獄にするのも
結局はわたし次第なんだ。



Buildings

わたしが家路につくころ
地球の裏側では朝日がのぼる

どこかでは、まだ見ぬ明日が
呼吸をはじめている。

ちいさな世界に閉じこもらないこと。



じぶんの今を変えられるのは
じぶんだけだ。

だから、人と比べる必要なんてない。

とても辛いことをされたら
許せないこともある

でも、誰かを憎んだままいることは
それ以上にじぶんを苦しめる。

Foregive

Star

苦手なひとに会うところ思う。
『きっと、いろいろあったんだ。』

Dream

子どもも、おとなも、
自由に未来を選ぶのに
おとなになると、いろいろ忘れちゃう。



地球を上から見下ろして感じたのは
自分の小ささではなく
むしろ『おおきさ』だった。

Distance

神様は本当にいるんじゃないかな？
とってしまうような雲海を目下に思うのは

思いのままに生きよう。
ってことだった。



それぞれの進むべき道の道しるべになれますように。

ヒカリノ道 ～シアワセのカタチ vol.2～

<http://p.booklog.jp/book/66830>

著者 : yumix0513

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yumix0513/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/66830>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/66830>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ